

科目名	フィットネスビジネス 1							年度	2025
英語科目名	Fitness business 1							学期	後期
学科・学年	スポーツ健康学科 スポーツインストラクターコース 1年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	浅野	教員の実務経験		有	実務経験の職種		フィットネスコンサルタンシー		
【科目の目的】 フィットネス業界の理解を深め、就職活動に繋げていくための企業研究をおこなっていきます。									
【科目の概要】 スポーツ・健康業界の動向や基礎知識について学びます。									
【到達目標】 A フィットネス業界について理解する B スポーツ・健康業界の動向を理解する C コミュニケーション能力を身につける									
【授業の注意点】 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができません。授業態度が著しく思わしくないものは、その出席分を認めない場合があります。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい		レベル3 ふつう		レベル2 あと少し		レベル1 要努力	
到達目標 A	フィットネス業界を理解し、キャリアデザインに活かすことができる			フィットネス業界について理解している				フィットネス業界を知っている	
到達目標 B	スポーツ・健康業界の動向を理解し、自身に合う企業を選別することができる			スポーツ・健康業界の動向を理解している				スポーツ・健康業界を知っている	
到達目標 C	対人において情報共有及び意思の疎通ができる			対人において情報共有を行うことができる				対人において相手の問いに対して答えることができる	
【教科書】 必要に応じて適宜資料を配布します									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 試験と課題を総合的に評価します。積極的な授業参加度、授業態度によって評価します。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		フィットネスビジネス 1				年度	2025
英語表記		Fitness business 1				学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル		評価方法	自己評価
1	オリエンテーション	フィットネスビジネスとは	1	フィットネス	フィットネスについて理解している	2	
			2	フィットネスビジネス	フィットネスビジネスについて理解している		
2	フィットネス状況①	各国のフィットネス①	1	国内	国内のフィットネス状況について理解している	2	
			2	グループディスカッション	国内のフィットネス状況について意見交換ができる		
3	フィットネス状況②	各国のフィットネス②	1	国外	国外のフィットネス状況について理解している	2	
			2	グループディスカッション	国内のフィットネス状況について意見交換ができる		
4	フィットネス市場①	市場環境①	1	過去の市場	過去のフィットネス市場について理解している	2	
5	フィットネス市場②	市場環境②	1	現在の市場	現在のフィットネス市場について理解している	2	
			2	比較	現在と過去の市場比較について理解している		
6	フィットネス需要①	需要動向①	1	クラブ利用状況	フィットネス利用状況について理解している	2	
			2	消費動向	消費者の動向について理解している		
7	フィットネス需要②	需要動向②	1	消費者心理	利用者の心理状況について理解している	2	
8	フィットネス需要③	需要動向③	1	オンライン	オンラインフィットネスについて理解している	2	
9	フィットネス需要④	需要動向④	1	実施率	国内でのフィットネス実施率について理解している	2	
			2	比較	国内と国外の実施率について理解している		
10	フィットネス需要⑤	需要動向⑤	1	スポーツ白書	スポーツ白書について理解している	2	
			2	データの利用	データを基に様々な事象を読み取ることができる		
11	フィットネス経営①	経営動向①	1	収支について	フィットネスクラブの収支について理解している	2	
12	フィットネス経営②	経営動向② (各クラブ比較)	1	プラン	各フィットネスクラブのプランを理解している	2	
			2	グループディスカッション	各クラブについて様々な意見交換をすることができる		
13	フィットネス経営③	経営動向③ (各クラブ比較)	1	施設	各フィットネスクラブの施設の充実度について理解している	2	
			2	グループディスカッション	各クラブについて様々な意見交換をすることができる		
14	フィットネス経営④	経営動向④ (各クラブ比較)	1	コストパフォーマンス	各フィットネスクラブのコストパフォーマンスを理解している	2	
			2	グループディスカッション	各クラブについて様々な意見交換をすることができる		
15	まとめ	情報の集約	1	インストラクター	各フィットネスクラブのインストラクター評価について理解している	2	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等